

報告 町内会・自治会の環境が変化 負担軽減・個別支援強化を！

3月 川崎市議会議員 田村しんいちろう

町内会・自治会を取り巻く環境が変化し、個別の状況に応じた適切な活性化支援策が求められています。

市は、活動資金助成制度の新設等については、他の手法も含め、支援策を引き続き検討するとしています。

一方、負担軽減については次年度から行政内部のルール徹底と全庁的な仕組みの構築が必要とし、委員会の意見を聴きながら各種行政依頼事務について、負担

地や県有地を賃借して会館を整備している事例があり、本市でも公有地等を活用することも一つの手法と認識し、今後適切な情報収集と提供に努めるとのことでした。

●指定難病対策事業

「難病の患者に対する医療費等に関する法律」の施行に伴い、難病関連事務が4月1日に県から本市に移譲されます。そこでまず県管轄では申請後4か月程度かかった受給者証の交付が、本市では医師による審査回数増や並行した所得区分確認により、期間短縮を図るとしています。また多分野で手続きを簡素化し、サービスのさらなる向上を図るとのことでした。

「適当な土地が見つからない」事情があるようです。私自身も難病家族の会で活動しており、この事業が療養生活やその家族に大きな影響がある施策であると考え、期待しております。



田村しんいちろう

川崎市議会議員 2期目
川崎市議会まちづくり委員会副委員長
宮前区花の台町内会会長
川崎市立宮前平小学校PTA会長

田村しんいちろう 検索